



シンポジウム

「女性の視点から災害支援を考える」

～今後各地で予測される災害に向けて～

1部 報告

13:30～15:00

- 1、「阪神・淡路 大震災を振り返って」～女性の支援活動から見たこと …… 正井禮子
- 2、「災害・復興時における女性と子どもへの暴力」に関する調査から … ゆのまえ知子さん
- 3、「災害とジェンダー」～被害は平等ではない …………… 池田恵子さん

2部 パネルディスカッション

15:15～16:30

「25年を経て災害時における女性支援の何が変わり、何が変わっていないのか」 ～災害支援におけるジェンダー視点の必要性について～

パネリスト



ゆのまえ 知子

91年「DV調査研究会」として日本で初めての全国調査を実施。自治体・NPO等のDV調査設計・実施に関わる。東日本大震災後、災害・復興時の女性と子どもへの暴力調査に関わる。東日本大震災女性支援のNPO法人フォトボイス・プロジェクト共同代表。DV被害者支援「サポートグループ」研究会メンバー。



池田 恵子

静岡大学教育学部・同総合防災センター教授 減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表 (<http://gdr.org/>) 静岡県ふじのくに男女共同参画防災ネットワークのアドバイザー 性別や多様な立場の人々の視点に基づく防災体制づくりのための調査、研修、教材作成に力を注ぐ。元東日本大震災女性支援ネットワーク運営委員。



斉藤 容子

大学卒業後(特活)CODE海外災害援助市民センタースタッフとして海外の災害復興援助に関わる中でジェンダー視点に興味を持つ。大学院修了後、国連地域開発センター(UNCRD)にてアジアにおけるジェンダーとコミュニティ防災研究に従事。人と防災未来センター主任研究員を経て現在関西学院大学災害復興制度研究所指定研究員。



正井 禮子

ウィメンズネット・こうべ代表理事 阪神淡路大震災発生直後、女性支援ネットワークとして被災女性の支援を行う。災害支援に女性の視点の必要性を痛感し、全国に情報発信する。元東日本大震災女性支援ネットワーク世話人。減災と男女共同参画研修推進センター運営委員。

日時 2020年1月13日(月) 13:30～16:30 (開場13:00～)

会場 こうべまちづくり会館2階ホール

■参加費 資料代 1,000円 ●保育有 要予約

申込み ☎ 078-734-1308
メール: womens-net-kobe@nifty.com

■主催 認定NPO法人 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ
HP: <http://wn-kobe.or.jp/>

HP「災害と女性」情報ネットワークは、2008年アジア防災センターより防災政策事例集に選ばれました。96年「女たちが語る阪神淡路大震災」、2005年「災害と女性」資料集を編集・発行。

■共催 フラワーデモ神戸 実行委員会
■後援 兵庫県 神戸市

